

▶ 令和7年度 会費の協力と会員加入のお願い

社会福祉協議会では、区民の皆様からご支援いただく会費を地域の福祉活動に活用いたします。
今年度も、多くの皆様からのご参加・ご協力をお願いいたします。

一般会費	1世帯 400円
特別会費	福祉施設・福祉団体 2,000円
賛助会員	企業 5,000円 (一口) 団体 2,000円 (一口)



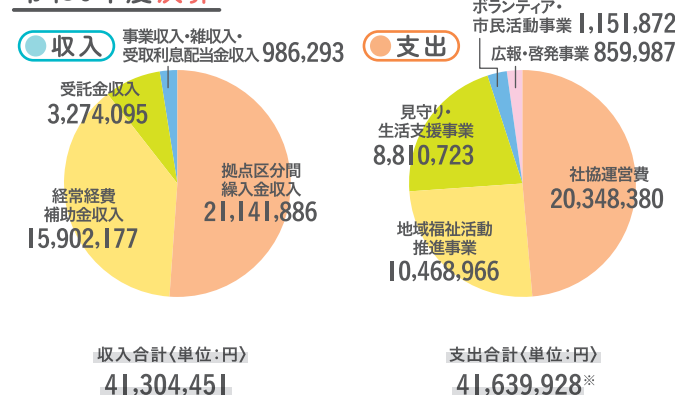
善意のご寄付ありがとうございます

新潟市内や中央区内の地域福祉の推進のために大切に活用いたします。
みなさんのあたたかい気持ちをつなぎます。

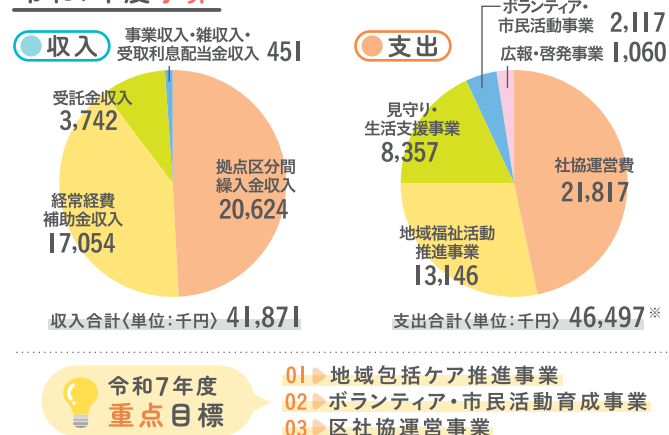
・アーニーローニー 様	10,607円
・上村康子 様	10,000円
・真如苑 様	200,000円
・新潟市教育相談センター ぐみの木教室 様	3,000円

▶ 中央区社協 事業報告・予算

令和6年度決算



令和7年度予算



演奏・コーラス・舞踊・演劇・マジック・バレーアート などなど…
特技・芸能
ボランティア募集

福祉施設や地域のイベント(敬老会や新年会など)で、特技や芸能を披露したい!という方、活動内容をお聞かせください。
施設等から依頼があった際にコーディネートの参考にさせていただきます。
情報提供シートにご記入の上、FAXかメールでお送りいただくか、窓口にご持参ください。

詳しくはこちらから!



編集・発行

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

中央区社会福祉協議会

ちゅうおうくしゃかいふくしきょうぎかい

〒951-8062 新潟市中央区西堀前通6番町909番地 Co-C.G. (コシジ) 3階

MAIL: chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

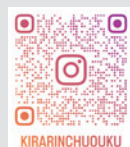
TEL: 025-210-8720 FAX: 025-210-8722

中央区ボランティア・市民活動センター

TEL: 025-210-8730 FAX: 025-210-8722

MAIL: va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

新潟市中央区
社会福祉協議会
Instagram



お車で
お越しの場合は
古町・本町提携
駐車場をご利用ください



ホームページ
でも最新情報
を更新中です



はぴふる

HAPIFURU【2025.06】

No. 51



MOKUJI

P.2 ▶ スマート自治会の取り組み

P.3 ▶ 高校生が教えるLINE講座

▶ 留学生×地域の防災士 防災訓練

P.4 ▶ 会費協力と会員加入のお願い

▶ 寄付のお願い

▶ 中央区事業報告・予算

▶ 芸能ボランティア募集

ピックアップ

高校生が教えるLINE講座

おおぞら高校新潟キャンパスの生徒が講師となり、シニア世代を対象にLINE講座を開催しました。

▶ 詳しくは3ページへ



《中央区》
社会福祉
協議会だより

chuouku
shakafukushi
kyogikai
dayori

▶ スマート自治会の取り組み



自治会運営をサークル活動でまわす! 名付けて

スマート自治会

「できる人が できる時に できることを」@女池西自治会



Interview

女池西自治会
上之山 剛
会長

自治会役員になったからといって、生活が犠牲になることがないようにしたい。

▶ スマート自治会の特徴

「負担感は減らして、楽しいと感じられるように。」

スマート自治会を提唱する女池西自治会では、自治会組織の運営体制の見直しの一環で、運営体制をサークル活動で担っています。そのほか、電子回覧板の実施など、ITの活用も積極的に行い、役員の負担感の解消を図っています。「できる人が できる時に できることを」をモットーに、義務感を持ちすぎず、楽しく自治会に関わりを持てることで、無理のない運営体制を整えました。

▶ サークル活動についてインタビュー

「自分たちがやってみたいと思うことを、楽しみながら企画しています。」

持ち回りで役員をした時に会長と出会い、そこからの縁で今も自治会に関わっています。サークルでは、自分たちがやってみたいと思うことを企画しています。やりたいことを共有できる人がいて、会長の理解もあり、続けられています。

イベントの講師はほとんど自治会内で頼んでおり、人のつながりで人材発掘することができました。スタッフは、イベントごとにボランティアを募集し開催しています。

また、幅広い世代が参加できるように企画や申し込み方法を工夫しています。自治会内でもイベントサークルが広まってきていると感じ嬉しく思っていますが、「来てみたかったけど、親子イベントかと思って躊躇していた。」という声もありました。私たちとしては、限定的ではなく、すべての人に参加してほしいと思っているので、どんどん来てほしいです。

▶ なり手不足の希望になるか。

「どこの自治会にも『やりたい人』はきっといる。」

「やりたい人」を募るサークル形式で、自治会の運営として継続することに不安は残いませんか?、女池西自治会の地域性や住民の性質に“合っている”から成り立っているわけではないのですか?、とそんな疑問をぶつけてみました。

上之山会長「スマート自治会は、どこの自治会でも実施できるシステムだと考えています。地域性に合っているかどうかというよりも、実行するかどうか、だと思います。どんな自治会でも何かを『やりたい人』は、きっといるはず。自治会は、その『やってみたい』という気持ちをサポートしていく立場になっていけばいいと思います。」

Interview

イベントサークルの
メンバー



山本さん 太田さん

1年間のイベントは、
レポートを作成し、集会所に掲載!
令和6年度は
12回実施していました。 //



\\ ピックアップ イベント // 今回は... ミニ田植え!

上之山会長が講師となり、稲の植え方や育て方のコツを説明していました。こども達は手を泥だらけにしながら田植えを行っていました。イベント中には、通りすがりの親子が「何のイベントですか?」と興味を寄せて、声をかける様子もありました。



参加者の声

今回楽しかったからまた次のイベントにも参加したい、田植えイベントは今年が2度目で、去年は枯らしてしまったから今年は頑張って育てたい、という声もありました。来年の田植えイベントは田んぼの見学がしたいという声がありました。

▶ 高校生が教えるLINE講座

「孫よりまだ若い生徒さんに教えていただき、嬉しくて感動しました。」

参加されたシニア世代の方は、そう笑顔で話してくれました。

令和7年5月8日(木)、おおぞら高校新潟キャンパス(中央区万代)を会場に、同校と共催で「高校生が教えるLINE講座」を開催しました。協力してくれたのは、おおぞら高校の1年生から3年生の12人。11人の参加者にマンツーマンでサポートにあたってもらいました。

学校は「生徒は地域との関りが少なく『自分の存在が他者の役に立てた』という経験が不足している。スマホ講座なら生徒が得意なので直接関われるし、社会の役に立つ実感を得られるのでは」と考えていたそうです。本会も、これまでシニア世代を対象に学生の協力のもと、世代間交流の一環で同講座を企画しており、想いが一致し開催となりました。

生徒からは「ボランティアは初めてでしたが、歳の離れた人の話を聞けるのはとても良いし、ちゃんと教えられて良かった」「年上の人になにか教えるということがあまりないので、緊張しましたがとてもいい経験になりました」等の感想があり、大きな達成感で満ち溢れていました。



▶ 留学生×地域の防災士 防災訓練 in 事業創造大学院大学



令和6年10月23日(水)事業創造大学院大学にて、学生や教職員、近隣自治会の方を対象とした防災訓練が開催されました。大学には留学生が多く在籍しています。そこで、講師である紫竹山校区コミュニティ協議会の防災士より「大学周辺の避難所はどこにあるか」「避難所での生活はどのようなものか」など、地域の防災について講話いただきました。計50名以上が参加し、留学生と地域住民が共に防災を学ぶ大切な時間となりました。